

結 果 の 要 約

1 岩手県の15歳以上人口1,190,210人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は734,276人で、前回調査の平成12年に比べ29,247人、3.8%減少している。男女別にみると、男性は416,525人、女性は317,751人で、平成12年に比べ男性は4.2%、女性は3.3%それぞれ減少している。

労働力率()は62.0%で、平成12年に比べ1.6ポイント低下している。また、男性の労働力率は74.5%、女性の労働力率は50.8%で、平成12年に比べ男性は1.7ポイント、女性は1.3ポイントそれぞれ低下している。

()15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は688,614人で、平成12年に比べ44,174人、6.0%減少している。男女別にみると、男性は385,687人、女性は302,927人で、平成12年に比べ男性は7.1%、女性は4.7%それぞれ減少している。また、65歳以上の就業者数は85,785人(就業者数の12.5%)で、平成12年に比べ0.7%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は538,915人(就業者数の78.3%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は89,746人(同13.0%)、家族従業者は59,923人(同8.7%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は0.7ポイント上昇、自営業主は0.2ポイント上昇、家族従業者は0.9ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が114,484人(就業者数の16.6%)と最も多く、次いで「製造業」が108,876人(同15.8%)、「農業」が83,430人(同12.1%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が78,499人(同11.4%)、「建設業」が68,437人(同9.9%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は42.1時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ44.5時間、32.4時間、役員は45.5時間、雇人のある業主は48.1時間、雇人のない業主は40.3時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は156,289世帯(夫婦のいる一般世帯300,947世帯の51.9%)で、平成12年に比べ11,753世帯、7.0%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は110,801世帯(同36.8%)で、平成12年に比べ10,720世帯、8.8%減少している。

7 県内に在住する外国人就業者数は3,476人で、平成12年に比べ1,083人、45.3%増加している。

図1 岩手県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

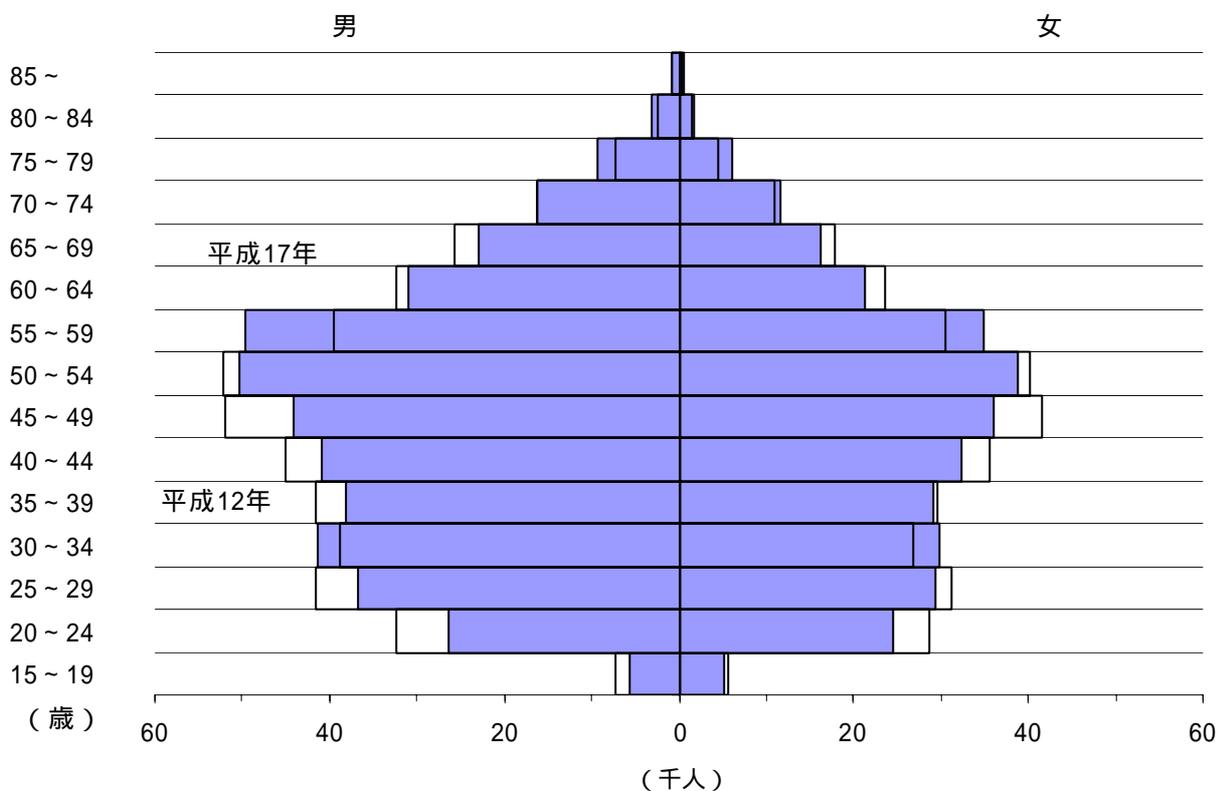
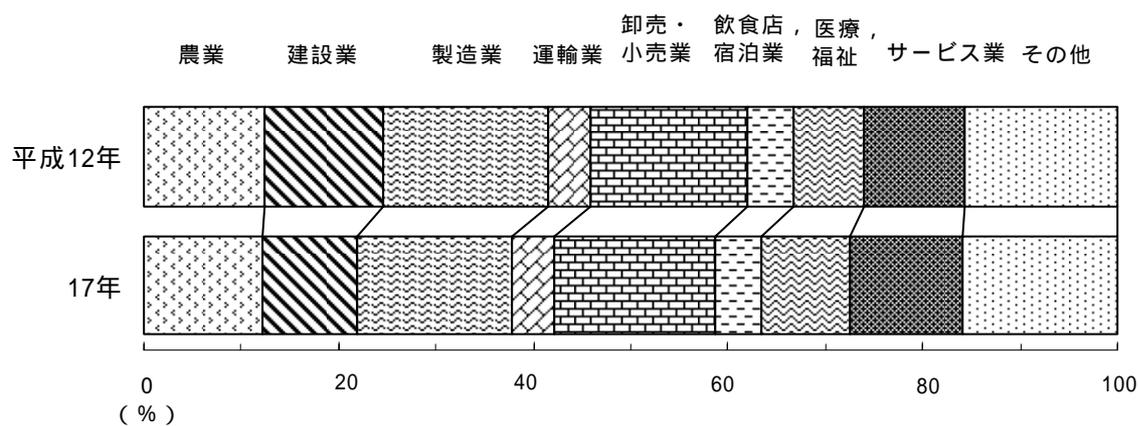


図2 岩手県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。